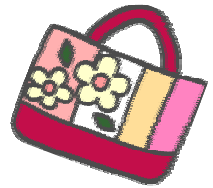


兵庫セルフ役員、知事を表敬訪問

2月25日、NPO法人兵庫セルフセンター（小川、山崎）兵庫県社会就労センター協議会（東馬場、正心）は、NPO法人設立のご報告と今後の活動についての意見交換として、井戸兵庫県知事を表敬訪問してきました。兵庫県からは、予てより兵庫県社会就労センター協議会に対して、授産活動活性化事業・障害者しごと支援事業など障害者の働く成果についてのプロジェクトを、ご提案していただき推し進めていただいています。その成果として、技術アドバイザー派遣や仕事開拓員の働きにより、商品カタログ「NUKUMORI」の発行、インターネット販売と全国でも類を見ない事業を展開しています。知事には、それらの事業報告と更なる支援をお願いしてきました。井戸知事は、障害のある人たちの状況については強い関心と理解をもたれていて、障害者しごと支援事業への予算編成等にも強いリーダーシップを発揮されている事を肌で感じる事が出来ました。今後のインターネット販売拡大に向けての予定や新年度事業についての抱負などを時間一杯、井戸知事と意見交換できたと思います。我々としては、知事を始めとした多くの方へ事業の成果を広くお伝えしていく事の重要性や、今後のNPO法人兵庫セルフセンターの活動の質を問われている事に、今一度、気を引き締めてかからねばと言う大きな宿題をいただいたと思いました。

ボクたちが「コープリビング甲南」で販売しました!!



東灘区内の12の小規模作業所と授産施設が平成14年11月ネットワーク連絡会を結成しました。

相互の情報を交換する中、作業所製作品の販売経路の開拓という共通課題を見出し、まず作業所製作品を一般の人に紹介するため東灘区役所ロビーで年2回の展示会を開催しました。

「この場で即売してほしい」という一般の声が圧倒的に強く、販売場所に「コープこうべ」の販売協力が得られる事になり、2月18日から22日まで5日間「コープリビング甲南」1階レジ横で「小規模作業所・授産施設合同販売会」を開催しました。

しかし、クッキー・せんべいから額入り絵画、手作りカバンなど、およそ50品目の様々な種類を同じ場所で並べてみると何ともセンスがない有様です。

消費者の目に触れ、手に取ってもらうには作業所の扱っている商品といえども美味しいだけでなく、包装・陳列の仕方など工夫しなくてはなりません。幸い、「兵庫セルフ」の蔵納さんや、青木さんのセンスとアイデアが光り、東灘らしい(?)オシャレな合同販売コーナーが誕生しました。

もっとも、その陰には「兵庫セルフ」のスタッフが各作業所巡りをして、ラッピングの指導、レタールのサイズなどをひと工夫するだけで商品のレベルアップにつながる事も学び、それぞれの作業所が従来の製品が進化していくプロセスを目の当たりに経験しました。

「コープこうべ」の販売路拡大の協力、「兵庫セルフ」の技術指導など、企業、NPOなどネットワークを構築する事で、障害者が地域に貢献する場を少しずつ増やしていきたいと思えます。

障害者共同作業所・授産施設ネットワーク連絡会
世話人 武田 純子 様より

